“へそ”でつながって40年

「日本のへそ」をPRする本市が、「北海道のへそ」北海道富良野市と友好都市親善協定を締結して今年で40周年を迎えます。

協定では友好親善の促進を図り、両市の絆を深めることを目的としており、両市ではこれまでに多くの市民が、経済産業や文化、スポーツなどさまざまな分野で相互に交流してきました。

昭和53年から続く「へそ」が取り持つ絆を紹介します。

■問合せ　秘書広報課（市役所内線２０６）

“へその絆”は昭和53年10月20日に始まりました。

「北海道のへそ」や「日本のへそ」としてPRする富良野市と西脇市はこの日、へそが取り持つ縁で、「友好都市親善協定」を締結しました＝写真。以降、両市のライオンズクラブや青年会議所が親善協定を結ぶなど交流が広がりました。

また、平成23年10月には、両市をはじめ全国のへそのまちが加盟する「全国へそのまち協議会」で、災害時の相互応援を定めた覚書を締結。最近では高校生が衣や食を通じて交流を続けるなど、結びつきを強めています。

今年10月には協定締結から40周年を迎えます。これを記念して、本市では11月に式典を開催し、富良野市から市民訪問団をお迎えする予定です。

＊　＊　＊

北海道富良野市の概要

雄大な十勝岳連峰と芦別岳に囲まれた盆地に位置する富良野市は、美しい空知川が市の中央を流れる豊かな自然に囲まれた田園都市で、道内を代表する観光地の一つです。内陸性気候で、一年で気温の差が大きいのが特徴。冬にはマイナス30度を下回ることもあります。

市内では広大な土地を利用して、タマネギやスイートコーンなど野菜を中心に、さまざまな農産物を生産。チーズやワインの製造など、第６次産業化にも取り組んでいます。

面積は約６００平方キロメートル、人口は約２万２千人（いずれも８月31日現在）。

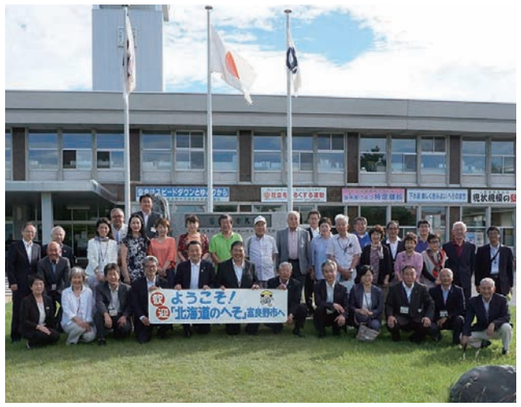
今年の富良野市との交流

◆西脇高校生が「富良野オムカレー」を提供

西脇高校生活情報科の３年生 12 名が北海道富良野市のご当地グルメ「富良野オムカレー」を提供しました。カレーとオムライスを組み合わせた富良野オムカレーは、ふわふわのオムレツと辛めのルーが特徴です。

この取り組みは富良野オムカレー推進協議会の協力を得て平成 24 年から続いており、生徒らは黒田庄和牛の焼き肉を添えてアレンジするなど、オリジナルメニューを考案しました。〔８月４日・７日、日替わりシェフレストラン「梅吉亭」〕

◆市民ツアーで１２名が富良野市を訪問



富良野市と友好都市親善協定の締結 40 周年を記念して、市民の皆さんが富良野市を巡る市民ツアーを開催。市民ツアーに参加した 12 名は北猛俊富良野市長を表敬訪問し、「へそ」が取り持つ絆を深めました。また、富良野市の夏祭り「北海へそ祭り」に参加したほか、富良野市や道内の観光施設を巡りました。〔７月 27 日～ 30 日、北海道富良野市ほか〕

“へその絆”の軌跡

- 昭和53年10月
  - ・西脇市と富良野市が友好都市親善協定締結
- 昭和54年５月
  - ・富良野市助役などが来西
    一行は織物まつりに参加して交流。
  - ・両市のライオンズクラブが姉妹都市提携を締結
- 昭和55年９月
  - ・両市の青年会議所が親善協定を締結
- 昭和58年10月
  - ・西脇市で子ども絵画交流展を初開催
- 平成７年８月
  - ・富良野市民団などが来西
    富良野市教育長を含む市民団が本市を訪問。
- 平成９年４月
  - ・両市の児童が特産品のプレゼント交換
    富良野市樹海東小で収穫した豆と、双葉小児童の自作のランチョンマットと播州織ハンカチを交換。
- 平成９年11月
  - ・全国へそのまち協議会設立
    両市のほか、全国で「へそ」や「中心」などと標榜する自治体で協議会を設立。本市で15自治体が参加するサミットを開催。
- 平成10年７月
  - ・富良野市で全国へそのまちサミット開催
    本市の市民団が富良野市を訪問し、北海へそ祭りに参加。前夜祭では西脇太鼓を披露。
- 平成23年10月
  - ・全国のへそのまちと災害時応援協定を締結
    両市が加盟する全国へそのまち協議会で、災害時の相互応援を定めた覚書を締結。
- 平成 24 年７月
  - ・両市の高校生が「衣」と「食」で交流
    西脇高校生が富良野緑峰高校生と交流。北海へそ祭りのステージで播州織作品を披露。
- 平成25年７月
  - ・友好都市親善協定締結35周年
    富良野市で記念式典を開催し、両市長が友好都市親善協定を再表明。
- 平成30年11月（予定）
  - ・友好都市親善協定締結40周年記念式典開催